

経鼻内視鏡検査について

平成20年9月より経鼻内視鏡検査を開始致しました。

内視鏡径が約5mmと、これまでの経口のものよりもかなり細くなったことから、内視鏡挿入時の嘔吐反射や検査中の喉の違和感が減り、検査時の苦痛が軽減されています。

「これまで胃カメラは避けてきたけれど、経鼻なら受けてみよう」と思われる方や、「以前胃カメラを受けて、反射が強くてとても苦しかったので…」と経口での再検査を敬遠されていた方など、経鼻内視鏡検査を受けてみようと思われる方はいつでもご相談ください。

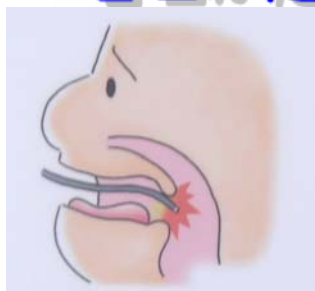


内科医師
土居 史奈

※尚、鼻の手術を受けたことがある方など、経鼻内視鏡検査が難しい場合もございますので、詳しくは内科外来でご相談ください。

特徴

嘔吐が起きにくい



内視鏡が舌のつけ根を通らないので吐き気をほとんど感じずに検査を受けることができます。

会話ができる



検査中も会話が可能なため、質問したいときは自由に医師とお話ができます。

負担が少ない



経鼻内視鏡は、鼻にスムーズに挿入できる約5mmの細さです。従来の内視鏡と比べて大幅な細径化を実現しました。